

【あいさつ】

■小田副会長

私どものクラブは、地区の役員をすることが多く、その分、クラブの事業はしにくいというのが現状です。そのなかでも皆さん頑張っておられます。ガバナーを出している本年度は、わがクラブを除いて73クラブ、ガバナーに随行していくということもごさいます。昨年度の会計では食費が少なくて黒字になったということ、それだけ地区の行事などへの出席が多かったということと思います。引き続き本年度もそのようなことになろうかと思ひます。その中で皆さんがやっておられる活動の途中経過を発表していただきます。よろしくお願ひします。

■前田ガバナー

1週間前にクラブ協議会をいたしました。クラブの課題などについて議論があったと聞いております。テーマごとに忌憚のない意見をいただきたいと思ひます。

【フォーラム】 各委員会報告

(進行=村竹ガバナー補佐)

＜会員組織委＞丸田理事

会員増強の当初計画は、純増3名、退会ゼロであります。純増に関しては、志を高く持って、年度末までに純増5名を掲げています。皆様のご協力を賜りながら達成したいと思ひます。明るく楽しい三次ロータリークラブのために皆さまのご尽力をお願いします。

＜クラブ管理運営委＞新家理事

地区会員大会や50周年事業がある本年度は、内部で意思統一をして当たろうと話合っています。今年には会長方針で夜間例会を月1回実施すること、出席率を向上させること、これらを、親睦活動、プログラム、出席、小林RC、それぞれの委員会で確認しています。夜間例会はきっちりできておりますが、出席率の方はきわめて低率です。欠席の際にはメーカーをお願ひし、年度末には、何とか出席率も向上した、会員相互の親睦が図られた、

と総括できるよう、力を合わせていきたいと思ひます。ご支援をよろしくお願ひします。

＜広報委＞増田理事

ロータリーの意義は百余年の中で培われた哲学の中にあるのですが、分かりにくくなっています。ちゃんとしたPRを一般の方にもしていく必要性が求められてきている昨今、委員会の重要性も増えています。ただ、十分な広報ができていない現状の中、なかなかどうやっていいか分からないところがあります。地区のホームページの活性化とも相まって、私たちのクラブのホームページの中身もよりいい形にして皆さんにお伝えできればと考えています。

＜奉仕プロジェクト＞佐々木理事

地区大会の委員などと兼任も多く、できる範囲のところで取り組んでいこうとしています。社会奉仕としては花火大会後の清掃、職業奉仕としては三次ワイナリーでの職場例会を開催しました。国際奉仕では例年同様、バングラデシュ支援として先般、昨年と同額を振り込みました。

＜R財団・米山奨学会委＞小田理事

Rカードの全員加入が当面の課題。米山奨学会のPRは近く米山奨学会の藤井委員長からの説明がある予定です。

(質疑・意見)

山下会員 出席率や財団への貢献が、低調だと思ひます。もっとみんなで元気を出して盛り上げて行きましょう。

(前田ガバナー所感)

地区巡回ですでに70クラブを回りました。クラブによって雰囲気が違うように感じます。活気、向上心が感じられるクラブであってほしいと思ひます。例会とは別に景気を勉強し職場を活性化しようとか、ロータリーをよく理解して人生のためにも職業のためにもそれを参考にしようという意欲が必要と思ひます。ロータリーに在籍しているという証を何らかの形でみつけてほしいと思ひます。そういうことを望み、チャレンジすることが大事です。ロータリーを意義のあるものにしていただきたいと思ひます。

2010年 12月9日(木)

第21号

本日のプログラム

米山奨学会委員会

次回例会

12月16日(木) 12:30~ 三次商工会議所

次回プログラム予告

総会

例会記録・・・12月2日

- 点 鐘・・・・・・中川筆之 会長
- ソング・・・・・・「君が代」「我等の生業」
- ゲスト・・・・・・第2710地区ガバナー 前田茂 様・随行幹事 木村易三 様
ガバナー補佐 村竹昇 様・ガバナー補佐幹事 酒井正治 様
- ビジター・・・・・・中島論 様(三次中央)
- 四つのテスト・・・灘岡直隆会員

会長挨拶

■小田 大治 副会長



本日は中川会長ご尊父様の逝去に伴い 代わりに挨拶を致します。改めまして謹んでお悔やみ申し上げます。また、本日は、前田Gの公式訪問の日でございます。例会後クラブフォーラムを予定致しております。また、本日高宮リージャスクレストにおきまして、G12親睦ゴルフ大会が開催されました。参加人数24名で天候にも恵まれ楽しい一日を過ごしました。伴い、我クラブでは副会長杯を執り行いました。

「泰平の眠りを覚ます上喜撰(お茶の銘柄)、たった四杯で夜も眠れず」とペルーが黒船4艘で日本に開国をせまってきたときの幕府の対応がお粗末であったことを江戸の住人が詠ったものです。当時は、幕府の国内対策から、火薬などの製造を制限し、大砲などに制限があり、お寺の鐘を黒船に向け大砲と見立てたことから情けない状況でありました。約百四五十年前の出来事ですが、今の日本とどこかよく似ているような気が致しませんか? と申し上げ本日の挨拶とさせていただきます。



幹事報告 ■菅原 暢之 幹事

- 中川会長のお父上の葬儀の連絡
- 本日の例会行事後にクラブフォーラムを開催、その後、前田ガバナーを囲む懇親会

出席報告 ■沖田 憲司 委員長

11月18日の出席報告					本日（12月2日）の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
42	24	5	4	73.81%	42	28	5	9

Make-up 石田会員（ライラ）・伊藤（ローターアクト）・小田(聡)会員（尾道RC）・増田（三次中央）

SAA報告 ■属 吉行 SAA

スマイル18,000円

村 竹 昇	本日はお世話になります。
谷 岡 慶 宣	1/30夜、地区大会打ち上げ会にご出席頂きありがとうございました。
小 田 聡 之	G12親睦ゴルフ3位となり、団体優勝に貢献できました。
古 永 雅 則	11月28日に三次きんさいスタジアムで開催されましたドリーム・ベースボールのプロに挑戦の中でピッチャーをさせていただき、ワクワク、ドキドキしましたが、無事投げることができました。



■前田ガバナー卓話

2710地区の各クラブを訪問しています。全74クラブのうち、きょうの三次を入れてあと5クラブを残すだけとなりました。本日は中川会長のお父様がなくなられ、お通夜と重なり、大変な日の訪問になったと考えています。

三次ロータリークラブは1961年創立。本年度が50周年です。23人のチャーターメンバーで発足し、県内60番目のクラブとして今日まで地域社会に功績を残されてきました。地域の中で存在感を示されてきました。歴史を感じるものがあります。それらを基に、ますます地域からの理解が深まるよう願っています。

この1年、成果を挙げるよう取り組んでいます。ロータリーの3大義務として、①出席の義務②機関誌購読の義務③会費支払いの義務—があります。三次クラブでは、佐藤会員が36年間、山下会員が32年間、連続100%出席を継続されておられます。地区大会でも大変お世話になりました。歴史のあるクラブであり、若い世代、熟年世代、経験深い世代の皆さまそれぞれに今後も尽力をいただき、ご支援をお願いいたします。

本年度、三次クラブの中川会長は「目指そうクラブの発展、動こう会員増強に」を掲げられています。どこのクラブも会員増に苦労しています。7月1日時点では2710地区は3284人でした。今は3346人。数が一つの力です。仲間を増やし、奉仕の理想を広めて親睦を深めるためにあらためて会員増強をお願いしたいと思います。

三次ロータリークラブがスポンサーとなって昭和39年5月に東城、同50年2月に吉舎、平成2年6月に三次中央、同5年6月に庄原が発足。三次クラブは2730地区小林ロータリークラブと姉妹提携もしています。地域で重責を担ってきた歴史ある歩みを理解してほしいと思います。

国際ロータリーのレイ・クリンギンスミス会長は「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマを掲げ、世界を結ぶ奉仕活動と呼びかけています。会長は「クラブ奉仕と職業奉仕は、一つの人生を謳歌し、よき市民へと導いてくれるだろう」「社会奉仕、職業奉仕を通じて、より住みやすい働きやすい地域づくりに導いてくれる」と述べられました。ロータリアン以外の人にも理解してもらい、奉仕活動を続けたいと考えています。

クリンギンスミス会長は、4大奉仕（クラブ、職業、社会、国際）に「次世代奉仕」を加えることを唱え、採択されました。私も、地域社会での教育のために力を注ぐことを考えています。会長は、ロータリーコーディネーターを41人指名。クラブ活性化のサポートを託しています。第3ゾーンでは、杉谷パストガバナーが指名されました。助言を受けながら次なる時代を開くための活動をさせていただきたいと願っています。

日本のロータリーの会員数は十数年前の約13万人から今は9万人余りに減っています。2710地区でも4300人前後から約1000人減っています。今やロータリーの危機、という声もあります。

一方、ドイツはこの10年間、景気に左右されず、クラブも会員数も増えています。昨今はロータリーの職業分類が1業種5人までとか、出席猶予も拡大するなどタガを緩める傾向がありますが、ドイツは1業種1人の基本原則を変えていません。しっかりとした考え方が根底にあるようです。このようなスタンスも必要と感じています。

10月にRI会長ノミニーとして田中作次パストガバナーが指名されました。これを機に、日本のロータリーの活性化を図り、注目されるロータリーになりたいと思います。

各地区大会に参加していて、講演を聞きます。2690地区（岡山、鳥取、島根）では、桜井よし子さんの講演を聞きました。尖閣諸島問題への政府の対応のだらしなさ、優柔不断さを指摘されました。背景として桜井さんは、個人の意識、権利の主張、歴史文化の教育ができていないことが原因とし、「ちゃんとした意見を持ち合わせた日本人であってほしい」と言われました。飛騨高山で聞いた金美齢さんも、「隠匿の美学ははやらない」とし、はっきり外へ意見をいう姿勢の大事さを主張されました。私たちも気を引き締めて地域社会に対したい、と感じました。

日本の青少年の中に、家から外に出ない「ひきこもり現象」が広がっているそうです。不登校の児童生徒も増えています。ロータリーとして、何らかの活動を起こさないといけないと考えています。ハーバード大への日本人留学生はかつて3けたの人がいたけれど今は激減している、という新聞記事もありました。

欠点を知ることでも情熱もわいてきます。クラブの活動を通じ、人間形成や社会への貢献に取り組んでいきましょう。